



平成28年10月18日
報道発表資料
 川崎市
 JR東日本 横浜支社

川崎市特産品「多摩川梨」のジャムを使用した期間限定メニュー復活！

川崎市と東日本旅客鉄道株式会社横浜支社（以下、JR 東日本）は、川崎市内における地域と鉄道の持続的な発展に向けた包括連携協定を平成 27 年 1 月 29 日に締結し、様々な取り組みを進めています。

このたび、地域農業の活性化や地産地消の推進、並びに JR 東日本のすすめる 6 次産業プロジェクト「のもの 1-2-3 プロジェクト」の推進として、昨年ご好評をいただきました「多摩川梨」の地産地消メニューが 10 月 24 日（月）より期間限定で復活します。

多摩川梨を福祉事業所「はっぴわーく」にてジャムに加工し、店舗でジャムを使用した限定メニューを気軽に味わっていただけます。

この機会に、ぜひ川崎の農産物『かわさきそだち』をご賞味ください。

※「かわさきそだち」とは、川崎市内で生産された農産物の総称です。

1 販売期間

平成 28 年 10 月 24 日（月）～11 月 23 日（水）

※多摩川梨ジャムが無くなり次第、販売終了

2 商品内容

(1) 商品名：多摩川梨ジャム&ホイップクロワッサン

価格：230 円（税込）

販売店舗：ベッカーズ 4 店舗

（武蔵溝ノ口店、武蔵小杉店、川崎ルフロン店、ホテルメッツ横浜鶴見店）



多摩川梨ジャム&ホイップクロワッサン

(2) 商品名：多摩川梨ジャムのトレインパウンドケーキ

価格：700 円（税込）

販売店舗：リトルマーメイド 1 店舗（武蔵新城店）



多摩川梨ジャムのトレインパウンドケーキ

3 「多摩川梨」について

多摩川梨は多摩川周辺で栽培された梨の総称です。

川崎市域の梨栽培が始まった歴史は大変古く、果樹として栽培が盛んになったのは江戸時代中期の寛政年間（1789-1801 年）といわれています。

かつて多摩川梨といえば、観光もぎ取り園が盛んでしたが、近年は幹線道路の沿道に設けられた臨時店舗での直売と贈答用の宅配が主になっています。

現在は豊水・幸水を主体にさまざまな品種が栽培されています。



多摩川梨

4 多摩川梨ジャムについて

(1) 生産者：石井梨園（石井務さん）

南武線登戸駅～中野島駅の内車内から見える南武線沿いの農園で、この場所で 60 年以上農園を営んでおります。農園は 1,000 m²以上で、年間 1 万個近い多摩川梨を出荷しており、幸水・豊水・菊水・二十世紀・長十郎などバラエティに富んだ種類の多摩川梨を育てています。露地栽培のため、太陽や土の自然の恵みをいっぱい受けた梨を一つ一つ丁寧に育てています。



石井梨園 石井さん

(2) 生産者：中豊園（松浦隆さん）

多摩区中野島にて農園を営んでおり、多摩川梨だけではなく、桃・ぶどうといった果実や野菜など幅広く育てています。多摩川梨は幸水・豊水・新高を中心に作っており、年間 3,500 個程度の出荷をしています。梨は害虫がつきやすく、袋で覆って害虫から梨を守っているなど、手間隙を掛けて育てています。



中豊園 松浦さん

(3) 加工者：就労継続支援 B 型事業所 はっぴわーく

NPO 法人「たま・あさお精神保健福祉をすすめる会」の事業所の一つ。一般企業等での就労が困難な方に、働く場を提供するとともに、就労への移行に向けた知識及び能力の向上のために必要な訓練を行っています。「働きたい」というニーズの充足および生活の充実を目的に活動し、作業や就労に関する学習会など働く場・就労へのステップアップの場としての機能を果たしています。



はっぴわーくのみなさま



はっぴの生ジャム「多摩川梨ジャム」



もの1-2-3 プロジェクトとは…

地域の魅力ある素材を掘り起こし（1次産業）、優れた加工技術等（2次産業）を組み合わせ、お客さま視点を踏まえた商品開発と販売（3次産業）をJR東日本が推進する、ものづくりプロジェクトです。